



Yoneyama Scholarship Alumni Association Kansai 2019-2020

**米山奨学生学友会
(関西)**

36



目次

関西米山学友会 会長挨拶	3
国際ロータリー第 2660 地区 2019-20 年度ガバナー ご挨拶	4
国際ロータリー第 2660 地区 2019-20 年度米山奨学委員会委員長 ご挨拶	5
活動報告：この 1 年間の振り返り	6
新規奨学生勉強会	7
米山 & RAC コラボレーション（食と文化交流会）	8
わくわく発表会 in 茶屋町	9
関西米山学友会総会	10
絆 in モンゴル	12
福井で 500 年前を歩く～秋研修会紀行文～	14
2019 韓国米山学友会総会参加記録	16
台湾米山学友会総会	17
米山梅吉記念館訪問 日帰り旅行の感想文	18
米山奨学生レクリエーション大会 宝塚と懇親会	19
国際ロータリー第 2660 地区 ロータリー学友会総会	20
年の瀬の宴「クリスマスパーティー 2019」	21
地区大会	22
ロータリー X' mas in USJ	24
WEB 感謝祭	25
投稿文章（大阪淀川 RC）：「飲水思源」世話クラブと米山梅吉記念館訪問	30
米山教室 ～発足してから 2 年の業績報告～	31
2019 年度 米山奨学生	32
関西米山奨学生学友会 2019-20 年度役員	36
会計報告書	37
2021 年米山学友会世界大会 招待状	38



Did you know?

米山学友会の豆知識

About Yoneyama Scholarship Alumni Association

学友会とは？

本会は、元・現米山奨学生間の交流を通じて、親睦および互助を促進すると共に、国際親善・世界の平和に寄与することを目的とする非営利組織です。

学友の活動とは？

異文化理解から語学力発揮、ボランティア活動から地道なお手伝いまで、学友たちが力になれるところで、今までの恩に感謝する気持ちを込めて貢献しております。

学友会の会員になる方法

関西に在住の元米山奨学生（OB・OG）現役奨学生の方々は全員は本会の正会員、準会員とする。関西近辺にいる学友の皆さま、是非一緒に本会の活動にご協力、ご参加をお願い致します。

イベントなどの最新情報を提供

本会は、ホームページや Facebook 等による運営を行っております。また、メーリングリストによる一斉送信も行っております。皆さまのご登録、心からお待ちしております。

会費は必要ですか？

年会費は 2012 年度により廃止されました。
※但し、活動参加費のみ徴収しております。

Website: <http://yoneyama2660.com/>
Facebook: <https://www.facebook.com/yoneyama2660>
Email: yoneyama2660@gmail.com

関西米山学友会 会長挨拶

～より良い変化へ～



アリフ ザイニ

ARIFF ZAINI

国際ロータリー第 2660 地区
関西米山学友会
2019-20 年度 会長

皆さんはゆでガエルの話はご存じでしょうか。カエルを熱湯が入っている鍋に入れるとすぐさま飛び出しますが、ぬるま湯に入れ徐々に水温をあげるとその温度変化に気づかずようやく気付いたときには既に手遅れており死んでしまいます。もちろんこれは作り話ですが、世の中の変化に対応していく重要性というメッセージの大切さには変わりありません。

昨年会長に就任させていただいたときに、関西米山学友会がこの新しい令和時代に即した存在として発展し続ける、また、現状に満足せずに常により良いものを目指すという信念を最も大切にしているため、昨年度のテーマを「より良い変化へ」と設定させていただきました。

まず、現役奨学生に対しては、奨学生のための勉強会とメンター制度を昨年度始めました。勉強会では、各世話クラブの育成および米山奨学委員会の育成プログラムに加え、米山奨学生を経験した先輩たちである我々米山学友会が、我々の経験・視点の教育カリキュラムを実施しました。メンター制度では、各奨学生に何でも相談できる「メンター」という比較的に年齢が近い学友メンバーつけさせていただきました。現役奨学生は米山学友会の未来となりますので、卒業しても彼らがロータリーファミリー内で活躍できるよう上記 2 点を始めた次第です。

また、米山教室という新しい奉仕活動も始めました。500 円だけで、様々な教室に参加することができ、授業

料全額を寄付活動に用います（詳細は本会報内の米山教室報告の記事を参照）。こんなに優秀な米山学友がたくさんいるのに、それを奉仕活動に活かせないかという疑問からすべてが始まりました。そして、参加者の多くが米山学友のため、米山学友会の存在意義の一つである米山学友同士の絆の維持にもつながります。

また、最近 IT も積極的に活用しています。これまでのデータはすべてクラウド上にて保管し、米山学友会役員がいつでもどこでも必要なデータを参照できるようにしています。また、行事への参加者側と主催者側の参加申請処理の効率化のため、行事への参加申請の専用サイトを運営しています。また、新型コロナウイルスという最近の外乱に対しても、恒例の感謝祭を WEB 感謝祭という形に変更し、最近の役員会議もウェブ会議で対応しています。特に、新型コロナウイルスが蔓延している現在、みんなが安心・安全な環境にて米山学友会で活躍できるには IT の活用が不可欠だと感じています。

最後に、2020 年 1 月から新型コロナウイルスにより世界中が大きなダメージを受けています。仕事の面、健康の面で不安を抱えている人は多くいます。しかし、みんなで一致団結し、専門家の指示に従い生活スタイルを変えれば必ずこの外敵を乗り越えられます。どんな困難に直面しても関西米山学友会は適切に世の中の変化に対応していき、より良い団体を目指していきます。

国際ロータリー第 2660 地区

2019-20 年度ガバナー ご挨拶



四宮 孝郎

国際ロータリー第 2660 地区
2019-20 年度 ガバナー

『「傾ける耳・涙する目・差し伸べる手」これを実践していたのが米山梅吉翁です。』

これは 2018 年 2 月 4 日に開催された米山記念奨学会の財団設立 50 周年記念講演会で述べられた言葉です。

この米山梅吉翁のスピリッツを私達ロータリアンは引き継いでいますが、もちろん皆さんも学び会得されている事でしょう。

言うまでもなくこの奨学制度が、他の団体の奨学制度と最も異なる点は、奨学生の皆さん各自に「世話クラブ」と「カウンセラー」がつき、皆さんの留学生生活を金銭的な支援だけではなく、日本での生活における文化への理解や将来に対する相談相手となって支えてくれている事です。

「ご縁」という仏教の教えに由来する言葉がありますが、皆さんと私達ロータリアンは米山記念奨学会を通じて、この「ご縁」で深く強く結ばれています。

毎年全国で約 850 名の奨学生が期間を終え、学友となりその絆をより強くし、友情を深め活動をされていますが、当地区の関西学友会は、その積極的な行動力から全国に 33・海外においても 9 箇所ある学友会の中でも、そのリーダー格として称賛されています。

近年国際ロータリーでは、ロータリーファミリーの「つながり」が重要視さ

れていますが、関西学友会の皆さんは地区のローターアクター、インターアクターの皆さんとの交流、及び RYLA への参加を通じて、ロータリアンの皆さんとのつながりが益々深まっています

米山奨学生に期待する最大のものは、もし母国に帰国されても日本と母国との架け橋になっていただく事です。皆さんの仲間は 129 の国と地域から来られ、その数は今や 21,000 名を超えています。

母国に帰られてもホームカミング制度を利用して、是非日本に里帰りして下さい。そしてお世話いただいたクラブのロータリアンやカウンセラーの皆さんと再会して、感動を共有致しましょう。

皆さんが米山奨学生及び学友である事の誇りと自覚を持って、今後とも一層活躍される事を心より祈念致しております。

現在は新型コロナウイルスの世界的な蔓延により、誰もが予想する事が出来なかった困難な状況下に、世界中の人々が置かれています。

これからどのように様相が変わっていくかは想像できませんが、私達ロータリーファミリーの絆は不変であり、米山「愛」で強く結ばれています。

又、笑顔で皆さんと再会できる日を楽しみに…。

国際ロータリー第 2660 地区

2019-20 年度米山奨学委員会委員長 ご挨拶



皆様こんにちは。

昨今の新型コロナウイルス感染症の影響により、今春開催を予定しておりました「2019 米山奨学生終了式」「2019 学友会米山感謝祭」及び「2020 奨学生オリエンテーション」も中止となりました。

しかしその間学友会として「WEB 米山感謝祭」の開催を実現されました。私たちロータリアンは学友会の皆様のアイデアによる動画を拝見し感銘いたしました。四宮ガバナーからも「素晴らしい取り組みで感動です」とお言葉を頂戴しております。

地区米山委員会としましては

- =奨学生へ= 新型コロナウイルス感染症の注意喚起をメール配信
- =世話クラブへ= 奨学生の現状把握アンケートをメール配信
- =奨学生へ= 四宮ガバナーから激励のメール配信

等、各種取り組みをいたしました。

現在、上記②により奨学生と世話クラブ・カウンセラーとの連絡は取れておりますのでご安心ください。又、上記③に関しましては奨学生より「(抜粋) こんな寂しい時、心細いと思う時に、暖かいメッセージをいただき、誠にありがとうございます。事態が早く収束するように願います。」等多数の感謝のメール返信がありました。

奨学生も例会再開等を心待ちにされていると思います。学友会の皆様からも暖かいサポートをお願いしたいと思っています。

困難な時ではありますが学友会の皆様の「絆」をより一層大切にし、そして、その「絆」でロータリーの使命でもある国際親善、国際平和に貢献をお願いしたいと思います。

最後になりましたが、今後益々の学友会のご発展を心より祈念いたしましてご挨拶に代えさせていただきます。

廣瀬 彰久

国際ロータリー第 2660 地区
米山奨学委員会
2019-20 年度 委員長



活動報告：この1年間の振り返り

関西米山学友会は、2019-20 年度に合計 15 行事を企画または参加しました。平均すると1か月1行事以上というペースになり、充実した1年間でした。また、その中で3つ(20%)の行事は全く新しいチャレンジでした。それぞれの活動報告を以下のページで示します。



新規奨学生勉強会



アリフ ザイニ

ARIFF ZAINI

国際ロータリー第 2660 地区
関西米山学友会
2019-20 年度 会長

今年度の新しい行事として、新規奨学生の勉強会（2019/5/26）を企画しました。

この勉強会を企画した理由は、奨学生としての自覚をもって学生生活を送ってほしいという思いからです。奨学生時代にもっとロータリーや米山のことを理解していれば、社会へ貢献することへの意識がよりいっそう高まるのではないかと考えました。後輩達にはより有意義な奨学期間を送ってほしいと考え、この勉強会を企画しました。

本勉強会は、米山奨学生を経験した人たちの視点でカリキュラムが組み立てられ、後輩達にぜひ覚えてほしいことや自覚してほしいことを数時間にわたり、リラックスした状態で雑談しながら、ゆっくりと知識を共有します。今回、奨学生の積極的な参加を促すグループディスカッション形式で勉強会を行いました。ディスカッション内容はロータリー組織、奨学金の仕組み、周囲からの期待、米山学友会の役割、奨学生のあるべき姿などです。

やってみて、とてもいい会でした。新規奨学生たちと知識の共有ができたことはいまでもなく、勉強会まで新規奨学生同士の交流はなかったのですが、本勉強会を経てみんながすっかりと一団結できたという2次効果もありました。奨学生同士の距離はもちろん、卒業生と奨学生の距離も縮めることができたし、奨学生の生の声および悩みも聞くこともできました。勉強会は奨学生からも好評だったので、来年度も実施する予定です。



米山 & RAC コラボレーション (食と文化交流会)

昨年の6月2日に米山&東大阪 RAC の料理交流会を開催しました。これまで米山学友会と同じロータリーファミリーの青少年団体との横つながりがほとんどなかったため、両団体の関係を深めるため、同じ年齢同志のローターアクトとの交流会をやりました。参加人数は約20名でした。場所の制限があり少人数でやったのですが、交流会は成功でした。

食べ物は毎日の生活に欠かせないものであり、国によって食べる習慣やマナーなども違います。なので、RAC

との交流会を各国の食文化を知るための【食と文化交流会】というテーマに設定しました。初めての交流会ですので、RACの【日本-和食】から紹介を受けました。当日、和食の基本組み合わせと食事マナーのレクチャーを受け、そのあとチーム分けて実際に和食を作りました。最後出来上がった料理を一緒に食べて感想を発表しました

米山学友会とローターアクトは同じロータリーファミリーですが、普段の交流がほとんどないです。今回の企画で同じ若者同士で交流ができ、仲良くなっ

て良かったと思います。今後は交流会だけでなく、米山学友会とローターアクトの各自の長所を活かした奉仕活動もやっていきたいと思っています。

單 雅婷

SHAN YATING

国際ロータリー第2660地区
関西米山学友会
2019-20年度 幹事長





わくわく発表会 in 茶屋町

2019年6月16日 関西米山学友と現役奨学生は、泉パストガバナーが企画されました茶屋町にある「わくわく発表会」に参加してきました。

わくわく発表会のメンバーは中国、韓国、台湾、マレーシア 5 か国で、9 名が参加しました。日本での音楽発表会は初参加だったのでドキドキしながら、楽しみました。

張 昇勲

JANG SEUNGHOON

国際ロータリー第 2660 地区
関西米山学友会
2019-20 年度 役員

私たちがチョイスした曲は AKB 48 の「恋するフォーチュンクッキー」と「ヒーローテーション」、そして「カントリロード」でした。毎週集まった練習室で、ギターとバイオリン等の楽器と合わせて毎回3時間以上徹底的に舞台発表準備しました。また、参加メンバーは多国籍のため、その多様性を活かし、それぞれのメンバーが自分の母国語で歌うことにしました。ちなみに、AKB48 海外姉妹グループがそれぞれの母国語で歌う場面が半年後の NHK 紅白歌合戦にありましたが、それを見たときに NHK の方々は我々のパフォーマンスのアイデアを借りたなと思い、面白かったです。もちろん、母国語で歌練習だけではなく、最後にみんなで米山共通語である日本語で歌いました。歌詞のリズムや日本語の歌詞を覚えることは凄く難しくて時間が

かかりました。でもテンションが上がる楽しい曲だったので、みんな楽しみながら練習しました。

舞台発表当日は、現場には観客も多くて、ヒップホップ・ダンス・演奏などの多様な公演がありました。米山学友会の発表の時、ドキドキしながらみんなが準備した曲を舞台上で歌ったら観客から歓呼とアンコールまで受けました!準備をしたやりがいを感じる瞬間でした。

わくわく発表会を通じて、忘れられない楽しい思い出を作ることができとても良かったです。企画してくださった泉パストガバナーにお礼を申し上げます。また機会があれば次回にも積極的に参加したいです。





関西米山学友会総会

2019/7/7に関西米山学友会の総会および新規奨学生の歓迎会を行いました。登録参加人数は170名で、この数年の高参加率を維持できました。そして、若林パストガバナー、四宮ガバナー、廣瀬委員長などのご来賓の方々が参加してくださり大変光栄に思いました。さらに、関西エリアに引っ越してきて、初めて参加された学友会家族の人数が増え、大変嬉しく思います。

アリフ ザイニ

ARIFF ZAINI

国際ロータリー第2660地区

関西米山学友会

2019-20年度 会長

総会の第1部のメインイベントは新会長の専任です。ディネス直前会長は2017年7月から2年間大変大きく関西米山学友会に貢献してくださいましたが、任期は2019年7月に終了しましたので、新会長を選ぶ必要がありました。選挙を得て、私事で大変恐縮ですが、2019-20年度の会長を専任させていただくことになりました。

総会の第2部で最も盛り上がったのは米山学友会と現役奨学生による余興です。今回の余興ではAKB48の「ヘビーローテーション」と「恋するフォーチュンクッキー」を歌いましたが、米山の多様性を活かすため、それぞれの演奏者の母国語で歌いました(ちなみに、その半年後のNHK紅白歌合戦に、AKB48の海外姉妹グループはそれぞれの母国語で歌うという我々のアイデアを借りました!)。さらに、泉パストガバナーのボンゴ演奏とコラボし、会場が大盛り上がりした。

2019年度の総会テーマは「より良い変化へ」とさせていただきます。2019年度から、関西米山学友会役員の平均年齢は一気に20歳ほど若くなりました。我々若い世代は、経験不足で考えが甘いところもありますが、一方でエネルギーがあり怖いもの知らずのところもあります。高い理想を持って様々なことにチャレンジしていきたいと考え、このテーマにした次第です。実際、近年若い層が既に実現している変化があります。例えば、ITの積極的な活用による役員業務の効率化、現役奨学生のサポート・育成の新仕組み提案、新奉仕活動の取り組み、ロータリー内の青少年役団体とのコラボによる横連携の強化、などあります。今後も若いパワーで関西米山学友会を変化させ続けてきたいと思いますので、応援のほどよろしくお願いします。

2020年度総会は2020/7/5に予定しております。お待ちしております!







絆 in モンゴル

関西 Power がモンゴルの大地に
「いつの日かモンゴルの草原を見たい」「一生の思い出作りをモンゴルの大地に～～」もう夢ではない～

『7月の時期はモンゴル旅行に一番良い季節…大陸性気候のため昼間と朝晩の気温差が激しく、昼間に急に雨が降り気温が下がることもあり、または40℃前後まで気温が上がりなど……』出発前から関西チームの皆さまとモンゴル料理をたべながら勉強会、初めてのモンゴル、首都ウラン

何 玉翠

HO YUTSUI

国際ロータリー 2660 地区

関西米山学友会

2019-20 年度 顧問

バトル♪♪♪～～興奮すぎて、もう心がここにあらず。

第二回米山学友による世界大会『絆 in モンゴル』

世界の米山学友は、累計21,000人を超えました。私たちの共通言語は日本語、そして、どの国へ行っても米山学友がいれば、国境を感じさせない親しみ感があり、見えない絆があり、これは『世界米山学友の輪』です。

2019年7月27日、28日第二回米山学友による世界大会『絆 in モンゴル』が開催され、私たちは第一回『感謝 in 熊本』に関西チームとして出発、今回50数名近くの参加した一行は相変わらず出発から賑やかで、関西空港から仁川空港経由、大韓航空、全日空、モンゴル航空、中華航空、バラバラでソウル合流～～まる一日掛かってやっとウランバートル チンギスハーン国際空港に到着。空港につくと米山一色、到着ロビーに世界各国からの米山学友とロータリアンそして出

向いのモンゴル学友で熱気が溢れて、正にお祭り状態でした。人口300万のモンゴルはこの期間違いなく海外から400名近くの人口が増えました。

27日式典開催までビジネスフォーラムと市内観光に分かれ、ウランバートルをすこし理解してから式典に出席。

第二回米山学友による世界大会『絆 in モンゴル』は Corporate Hotel and Convention Centre で開催されました。世界16の国・地域出身の学友、ロータリアン、家族など、総勢548人が登録。日本を含め、モンゴル以外からの海外ゲストが383人、モンゴル国内の学友や家族、ロータリアン、来賓が165人盛大な会となりました。

米山学友一人一人は、この奨学金制度の素晴らしさを誰よりも知っている。『世界の架け橋になる』、『恩返しをしたい』という想いをもっています。中には奨学期間終了後、いろいろな事情があって、世話クラブやロータリー





地区との関わりがなくなり、学友会行事への参加もできない人も多数います。2016年ソウル、2017年熊本の世界学友大集合での各国から多数学友の参加してくれるのは皆が同じ想いを持っているという何よりの証明です。モンゴルでも大きな絆が集結しました。

式典の進行はモンゴル学友が担当、もちろんモンゴル語と日本語で紹介、モンゴル語の時は日本語訳がスクリーンに映し出され、国際会議的な臨場感で開始、そして、ロータリー米山記念奨学会斎藤直美理事長やモンゴルのツォグトバートル外務大臣（フレイ RC の名誉会員）、ご来賓挨拶等に続いて各国の学友会紹介及び活動、近況報告、最後にモンゴルの学友全員が登壇して披露されたオリジナルソング「米山の絆」を合唱、とても感動的な場面でした。式典後の懇親会では世界各国学友たちが交流しながら、歌ったり、踊ったり、チャリティオークションで盛り上がり、最高のひと時を過ごしました。

28日2日目は「ミニナーダム」と呼ばれる遊牧祭。モンゴル相撲や遊牧競馬、伝統弓矢など、モンゴルの伝統文化を堪能、広大な草原の解放感の中、思い思いに楽しむ姿が見られました。良い体験そしていい思い出になりました。

世界中各地からの学友が二日亘り、『絆 in モンゴル』に集結、今回実行委員長の新モンゴル学園理事長 J・ガルバドラッハさんはモンゴル学友会 20 数名委員たちとともに 1 年前から準備を重ねられ、初のモンゴル大地の学友達に最高のもてなしで迎えてくださいました。2 日間という短時間にも関わらず、モンゴルの印象をできるだけ残してもらいたいという気持ちが十分伝わって、本当に感謝感激です。

関西米山学友会はこの数年関西チームとして、台湾学友会総会、韓国学友会総会、中国の学友訪問、ネパール学友会設立総会、マレーシア学友会設立総会に参加し、各米山学友会

と相互交流をしてきました。この横のつながり、世界感はまさに世界米山学友の輪、世界米山学友の交流の場と実感しています。

『世界米山学友の輪』とは、国を越えた米山学友の活動および世界平和への貢献が効果的に行える輪です。そしてこの学友の輪により、私たちにたくさんの活動が期待されると思います。

2 年に一度、世界の米山学友が一同に集まり、「絆 in モンゴル」無事に開催できたこと、盛大に開催されたこと、感動な場面と素敵な体験ができたこともすべてはご参加者と実行委員会たちと皆さまが一体となって望んだ結果です。皆さまお疲れ様でした。

次回 2021 年 6 月 12 日第三回米山学友による世界大会『出会い in 台北』、この米山パワーでまた、お会いしましょう！！





福井で 500 年前を歩く ～秋研修会紀行文～



私は今年米山学友会秋研修会の企画を担当した。企画者の立場である私が、研修会紀行文を書くとは!正直、誰が読んでも素晴らしく公正と思える感想文を書き出す自信がない。しかし、今回の研修会に参加した愛らしい我が学友、奨学生、ロータリアンみんなが私の期待通り楽しんでくれたと勝手に思って、自画自賛の紀行感想文を書きたい。



今回の秋研修会は、一人のロータリアンを始め、奨学生 13 人、学友 12 人そして奨学生・学友の家族 9 人を含め、老若男女 36 人が福井県に行ってきた。台風予報に、雨が降ったり止んだりを繰り返す意地悪な天気がみんなの旅行気分を壊すか、私は恐れていたがバスから降りて日程を消化するたびに嘘のごとく雨は止んだ。本気で楽しむみんなの心のおかげで台風もそれで行ったのか、と、一瞬一瞬が有難かった。



初日は 1244 年に創建された永平寺に尋ねて、国宝と重要文化財などを秀でて美しい自然景観と一緒に鑑賞した。雨止んだ後の緑はその色をもっと強く吐き出し、美しい木造建築の木の香りが交わりその場に留まるだけ





でも体と心が癒される気がした。その後、夕陽が絶景だと言われるサンセットビーチで夕焼けを味わう予定だったが、曇って夕陽が見られなかったことは少し残念だった。宿は、ミラクル亭という山の中の山荘で、温泉を楽しむことができる和式の旅館で夜を過ごした。温泉上がりに集まって談笑をしながら互いを知っていく時間を持った。

二日目には福井県の名物、越前蕎麦を直接打ってみる体験をした。自分で打った蕎麦をその場で食べることができて、さらに美味しく感じた。そして一乗谷朝倉氏遺跡をガイドさんの解説とともに見回った。それまで見てきた日本の庭園は、見るに完璧な形に再具現もしくは復元された庭だったが、一乗谷朝倉氏遺跡は昔のありのままに保存されている庭の遺跡だったので、もっと勉強する気持ちで見学することができた。残された礎の上にあったはずの家屋の形や、庭の岩の間を流れたはずの小さい滝の姿を想像しながら、500年を超える時間を遡り観て感じる時間を持った。そして江戸時代の町並みを再現しておいた村は、まるで私たちが江戸時代にタイムスリップしたと思うほど精巧を極めていた。もちろん、

家屋の形や細々しい構造物の再現もそうだったが、何より私たちを江戸時代に力強く導いたのは江戸時代の服を着て實際育てた野菜を売る商人たちや私たちのような観光客を不思議に観ている人々、昔の言葉遣いをして話している町の人々だった。その方々はみんな地域活性化に力を注いでいる地域ボランティアさんたちだったけど、その内ある方が「米山」という言葉に大きく歓迎してくださった。その方は第2650地区のロータリアンだった。2年前の秋研修会で富士山前にある山中湖でラジオ体操をした時のように、予告なく研修地域のロータリアンと遭遇した瞬間だった。一瞬の嬉しさと寂しさを後にし、私たちは毎年米山学友会秋研修会と共にしていただいているロータリアンの佐藤先生の故郷、長浜黒壁に寄って大阪に帰ってきた。初日は美しい福井の夕陽を見ることができなかったけど、大阪に戻ってくるバスの中で滋賀の夕陽を代わりとした。台風が去った清明な空の上に濃く敷かれた赤い夕焼けが「一泊二日間心深く日本を楽しんでくれてありがとう」と言っているようだった。

研修会という名のように、遊ぶこと

よりは見学と体験日程でぎっしりだった旅程だったが、実際私にそれより響いたのは自然が作り出したものだった。日本を見て感じる紀行として構成される毎年の秋研修会だが、具体的な見学を通した勉強だけでなく、その過程の中で自然に体得する個々の五感を通した体験が、日本に対する印象をより深く刻んでいくような気がする。今年もこのようにみんなと一緒にあったからこそ楽しかった米山学友会一泊二日の秋研修会が無事に終わった。今度は何が待っているだろう。

関 スラ MIN SEULA

国際ロータリー第2660地区
関西米山学友会
2019-20年度 副会長





2019 韓国米山学友会総会参加記録

毎年11月3回目の土曜日には韓国の首都であるソウルにて韓国米山学友会の総会が開かれる。今年(2019年)も11月16日午後6時、ソウル明洞のパシフィックホテルで韓国米山学友会の総会が成功的に開かれた。韓国の学友たちを中心に、韓国学友会総会開催を祝いにきた各国の米山学友たちと、長い時間国際ロータリー米山記念奨学生たちを支えてくれた日本のロータリアンが一堂に会した楽しい時間であった。

我々関西学友会からは元会長である何玉翠顧問と現副会長の関スラ、役員張昇勲、権貴玉学友、金正一学友が参席した。本総会には私たち学友のみならず、第2660地区の現役奨学生である房旼娥、申ユリ奨学生も金正一学友からの往復航空費支援、そして関西学友会の参加費支援の上

で参加した。我々地区の奨学生であるこの二人は一堂に集まった韓国の学友たち、母国で活躍をしている各国の学友たちと初めて挨拶を交わす意味深い時間を過ごしただろう。彼らには今回の海外学友会総会の参加を通じて、奨学生である自らも米山学友会の一員であると自覚しつつ誇りに思うようになっていただきたい。それとともにこの紙面を借りて、限りのない発展の可能性を持つ奨学生たちに、2年連続学友の先輩として韓国総会参加にあたり積極的に支援をしてくれた金正一学友に感謝の言葉を伝えたい。

今年のソウル総会では例年と同じく前年度活動内容及び予算・決算の承認、今年度活動計画などの報告があり、日本での留学を終えて帰国した帰国学友の紹介の場もあった。韓国学友会は韓国国内において定期的(隔月)に疎外階層及び低所得家庭の子女たちのための奉仕活動を中心にメンバーシップ向上を図るワークショップ活動をしているようだ。そして今年韓国学友会が支援する日本人奨学生3人からの挨拶の時間もあった。現在韓国学友会は韓国の大学院で勉学につとむ日本人留学生たちに奨学金を給付している。大きい金額ではないが、ロータリーの社会貢献への精神と米山の教育支援を通じた異文化交流及び人材

育成を実践しているのである。

そして、我々関西学友会の林小微元会長と何玉翠元会長へと、韓国学友会名誉会員証書贈呈式が行なった。関西地域の学友のみならず、世界各地の、とりわけ韓国学友会への協力と功労を認める感謝状を兼ねた会員証書である。何より「終身」会員という言葉を強調しつつ「これからも宜しく」と全炳台韓国学友会会長は言い加え、場内はみんなの笑い声で満ちた。世界の米山学友会の中心になって活躍している我々関西学友会に力が加わる時間でもあった。

韓国のみならず、毎年それぞれの国において、そして日本の各地域において米山学友会の総会が開かれる。米山学友が国境を越え、米山という名で結ばれた絆に誇りを持ち、世界各地で活躍し続けていくことを心から願う。

関 スラ

MIN SEULA

国際ロータリー第2660地区
関西米山学友会
2019-20年度 副会長





台湾米山学友会総会

台湾米山学友会の総会報告について述べる前に、守口ロータリークラブと米山奨学会の皆様にご感謝の気持ちを述べさせていただきます。大阪大学の言語文化研究科で19世紀末・20世紀前半における日台関係について研究を行っています。博士論文の執筆に着手する前に、史料の収集や台湾史に関する知識を深めるため、半年間台湾に留学したいという希望を伝えました。米山奨学会や守口ロータリークラブから温かいサポートをいただきました。多くの方は優しく応援してくださったおかげで、2019年9月から2020年2月まで台北にある国立台湾師範大学で研究留学することができました。本当にありがとうございました。

台湾留学中に、2019年11月30日に行われました台湾米山学友会の

総会に参加する機会がありました。台湾米山学友会総会は、正式報告と懇親会に分かれて行われました。正式報告の第一部は大阪での米山ロータリー総会と同じように、あいさつ、来賓紹介、幹事報告や留学体験談という流れで終わりました。

これまでは知りませんでしたが、台湾米山学友会は台湾版の米山奨学金制度を数年前に始めました。つまり、台湾で留学している日本人留学生を対象とする奨学金制度を台湾米山学友会が運営されております。まさに、奨学期間に受けた恩を次の世代に恩返ししていることを実現されており、感動しました。その日に、2019年度新規奨学生6名と卒業生3名が総会会場にいらっしゃいました。3名の卒業生は近況報告および奨学金期間に学んだことについてスピーチし、新規奨学生は自己紹介と今後の抱負についてスピーチされました。

台湾に留学していた私にとっては、日本人留学生の台湾留学の体験談は非常に興味深かったです。例えば朝野嵩史さんは、台湾に留学する時、台湾史に関心を持つようになり、帰国後に大学院に進学し、台湾の歴史を研究し始めたと述べました。また三浦崇志さんは、台湾留学が自分の話し

方と人と接し方に深い影響を与えたと話していました。このような話を聞いた時に、留学や異文化との関わりは考え方や視野を広げ、今後の生き方を変えるほど影響を与える可能性があると感じました。この意味では、台湾総会で知り合った日本人新規奨学生の6人が、帰国後台湾留学の体験をどのように活かしているのかをとっても知りたいです。

第二部の懇親会もよく記憶に残っています。それは多言語の環境が私に新鮮な印象を与えたからです。懇親会の際に、ロータリアンであるか、留学生であるか、関係なく皆様が日本語や中国語、英語などの様々な言語を用いて、周りの人達と楽しく会話を楽しんでいた。まるで言語や文化の壁を感じさせない、バリアフリーな環境を今まで目にすることがありませんでした。談笑や乾杯の音で溢れた温かい雰囲気では、米山ロータリーが推進する文化交流の本当の意味をしみじみと感じました。本当の文化交流では、人達が言葉や身振り手振りに止まらず、心と心の結び付きであると思います。これから出会う人達とも心と心の繋がりを築くことによって、文化交流の素晴らしさを世の中に広げていきたいと思っています。

ファビエン シモーネ

ホーファー

HOFER, FABIENNE SIMONE

2018-20年 米山奨学生

スイス

大阪大学

守口 RC



米山梅吉記念館訪問 日帰り旅行の感想文

2019年の11月末に、米山記念館訪問日帰りツアーに参加してきました。みなさまのおかげでとても楽しく一日を過ごせました。30人近くのツアーで朝7時に新大阪駅で集合し、ひかりで三島駅までいきました。集合時はバラバラだったみんなは、新幹線に乗れたらすぐ盛り上がりました。途中で富士山を見ることができ、みんなは大変嬉しそうにシャッターをきりました。日本といえば、富士山だろうという意識を外国人である私はずっと持っていますの

劉 強
LIU QIANG

2019-21 年 米山奨学生
中国
立命館大学
大阪堂島 RC

で、近くで見ることができたので、とても嬉しかったです。約2時間半の新幹線の旅を終え、次是三島駅で貸切バスに乗り、今回の目的地である米山梅吉記念館に向かっていました。米山梅吉記念館はとても静かな街の中に入り、立派に建てられています。中に入ると、会議室で短い打ち合わせをすると、すぐ上にある展示室に上がりました。展示室には、写真や米山翁の遺品物が多数展示され、米山翁を生い立ちから紹介しています。スタッフの方は米山翁が生前に行った奉仕事業及び銀行家としてのご活躍をわかりやすく紹介してくださいました。日本のロータリークラブに関するクイズをスタッフの方が出してくれたが、うまく答えられなかった質問があったので、とても恥ずかしく感じました。屋上にのぼると、綺麗な富士山を肉眼で見ることができました。そのきれいな富士山を背景にし、集合撮影をとり、全員一同、スタッフのご案内のもとでお墓参りをしまし

た。墓地は富士山の麓の閑静な住宅地の中にあります。参加者のみんなはお線香を供え、静かに出ました。その後には漁港に向かい、昼食を食べに行きました。食後は久々に会えた奨学生の友だちと街を歩き、しばらくして関西に戻りました。今回の旅を通して、米山翁の生涯を知ることができるのは私にとって一番大きいものでした。その社会奉仕精神、新事業を展開する勇氣と決断力を、紹介を聞きながら遺品物を見ながら肌で感じ取ることができました。常に善意をもち、社会的地位の弱い人々、支援が必要となる人々に手を差し伸べられる人になりたいと思います。また機会があれば、もう一度ゆっくりお伺いさせていただきたいと思っています。最後にこの訪問を企画してくださった米山奨学委員会に感謝の意を申し上げたいと思います。おかげさまで非常に有意義な一日を過ごせました。ありがとうございました。





米山奨学生レクリエーション大会 宝塚と懇親会

2019年10月27日(日)に地区米山奨学委員会が主催した国際ロータリー第2660地区米山奨学生レクリエーション大会が行われました。レクリエーション大会の前半は宝塚歌劇(月組公演)の「I AM FROM AUSTRIA」の観劇であり、後半は懇親会が開催されました。当日、現役奨学生やカウンセラーの方々、ロータリークラブの方々に参加しており、関西学友会の先輩たちもお手伝いで観劇しにきました。

今回私は現役奨学生としてレクリエーション大会に参加しました。当日、私はカウンセラーの坂田さんと打ち合わせて早めに宝塚大劇場に到着したため、地区米山委員会と関西学友会の方々と一緒に受付で手伝いをしました。それをきっかけに、地区米山委員会と関西学友会の間の素晴らしいチームワークを感じることができました。受付の手伝いを終えてから、本日の当番である「I AM FROM AUSTRIA」の観劇の時間でした。

「I AM FROM AUSTRIA」は、ハリウッドの人気女優エマ・カーターは故郷のオーストリアにあるホテルに泊ま

り、ホテルの後継者のジョージと出会って恋に落ちる話です。エマ・カーターは異国のアメリカで努力して人気女優になり、自分の目標を達成して成功したと言えますが、「自分が誰で、自分にとって何が一番大切なのか」という真の自分を異国ではなく故郷で見つけました。これに対して現在日本で留学し、夢を追っている私は非常に共感しました。私にとっては、日本は第二の故郷であり、留学してからもっと自分について知る機会が増えました。しかし、私の性格や価値観、物事の考え方はやはり故郷の台湾の文化に深く影響を受けていると思っています。私は日本に留学してから、日本の文化をたくさん学び、前よりもっと日本のことが好きになりましたが、自分の中で一番好きなのが台湾であるということは一生変えられないと思います。今回の観劇で一番感じたことは「自分の初心を忘れてはいけない」ということです。

「I AM FROM AUSTRIA」の観劇の後に、参加者全員向けの懇親会の場所に移動しました。おいしいご飯を食べながら、現役奨学生全員の観劇の感想を聞きました。40人ぐらいの

奨学生は発表をしましたが、皆さんそれぞれ感じたことが異なります。その中で、日本に来てわずか一年である奨学生もいますが、彼らは全ての日本語がわからなくても、楽しい雰囲気を味わうことができました。音楽やダンスは国境を超えて、人々の心を動かせるものであると改めて感じました。今回のレクリエーション大会は、私にとって米山奨学生生活の中で忘れられない思い出の一つになりました。主催した地区米山委員会の方々、手伝いで参加した関西学友会の先輩たち、忙しい中で時間を割いて私たちと一緒に観劇をしたロータリークラブの皆さん、ありがとうございました！

鄭 詩穎

CHENG SHIHYING

2018-20年 米山奨学生
台湾
大阪市立大学
池田くれは RC





国際ロータリー第 2660 地区 ロータリー学友会総会

地区ロータリー学友会へのサポート強化のため、今年度から関西米山学友会は一人の役員を専任として、地区ロータリー学友会に派遣するという新しい制度を始めました。そして、この1年間、私がその地区ロータリー学友会専任というポジションを担当させていただきました。

地区ロータリー学友会では会計を担当させていただきました。そして、地区ロータリー学友会の活動に参加することができて、新しい出会いがあり有意義な1年間だったと思います。皆経歴は異なりますが、全員がロータリー

ファミリーで、今後も関西米山学友会と地区ロータリー学友会とのつながりを大切にしたいと思います。

地区ロータリー学友会に所属していたときに、5月と11月の総会を開催しましたのでそれについて報告します。

① 2019年5月19日に地区ロータリー学友会総会を開催しました。関西米山学友会からの出席総数は奨学生を含めて23名で、合計人数120名の中から、1/6が米山学友会または米山奨学生でした。

2019-2020年度の活動報告に加え、次年度の役員人事ならびに活動方針の発表がありました。そしてメインプログラムでは、フォトジャーナリスト 渋谷 敦志 様（ロータリー財団学友）による講演（題目：「まなざしが出会う場所へ」）がありました。渋谷敦志（1975年～）様は、立命館大卒、アジアプレス・インターナショナル所属のフォトジャーナリストです。1999年、MSF（国境なき医師団）主催のフォトジャーナリスト賞を受賞されました。講演では世界の紛争地や被災地を拠点

に活動されているフォトジャーナリストならではの視点で、そこに身を置くことで体験した出来事や当時の感情など、写真を通してお話して頂きました。特に被災地取材したエピソードは強く心に響き、涙が溢れてしまいました。米山学友会の私たちにとって大変貴重なお話になりました。

② 2019年11月10日に地区ロータリー学友会は秋の総会を開催しました。関西米山学友会の出席総数は奨学生を含めて、21名でした。

2018-2019年度の決算報告と2019-2020年度の活動報告の発表がありました。メインプログラムとなったのは、コクヨ株式会社 代表取締役会長 黒田 章裕様（大阪ロータリークラブ）による講演会でした。黒田会長はご自身のコクヨにおけるご経験に基づいて、「Best Effort から Guarantee へ」というタイトルで講演されました。世の中が変わりつつあり、今のビジネスでは保証が不可欠であることが大変勉強になりました。

羅 式鉦

LUO SHIYU

国際ロータリー第 2660 地区
関西米山学友会
2019-20 年度地区学友会専任





年の瀬の宴「クリスマスパーティー 2019」

米山の年末の一大行事というと、クリスマスパーティー無しには語れません。2019年師走、大阪本町界隈に粋なイタリアンレストランで開催されました。

初の半立食スタイルを決行し、ロータリアンと若い米山奨学生ともども楽しんでいただきました。席の少ない会場では、皆さん譲り合って、語り合って、とてもいい雰囲気醸成し、2時間はあっという間でした。

パーティーならではのゲームや余興で盛り上がり、一番印象に残ったのは演奏チームによるカルテットでした。米山学友会（卒業した奨学生）の先輩たち及び現役奨学生はプライベートの時間を当て、練習した集大成のコラボレーションを披露していただいたことは幹事として感謝の言葉しかありません。

せん。素晴らしい演奏をありがとうございました。

楽しいゲームやお店渾身のお料理を楽しんだ後、最後は定番のプレゼント交換タイムでした。テンポのいい生演奏が流れているなかでそれぞれのプレゼントが決まり、みんな笑顔に溢れ、とても輝いていました。

振り返ってみると、このような催し物を企画・運営するのは幹事だけではとても到達できません。経験者幹事を始め、米山委員会のチーム全体が動いていました。場所選定、食事、ゲーム、機材、会計など、多くの委員たちの知恵と尽力が詰まっている大イベントでした。米山ファミリーに入った奨学生の皆さん、一緒にやってみませんか？企画運営はもちろんいろんな勉強がで

きますし、チームワークの大事さと面白さを体感できる良いチャンスかと思います。米山学友会はいつでもサポートしますので、ぜひこのファミリーに飛び込んで、奨学生ライフをもっと充実させましょう。

祝 方悦

ZHU FANGYUE

国際ロータリー第 2660 地区
関西米山学友会
2019-20 年度 役員





地区大会

2019/12/13日～14日の2日間にかけて、当地区の地区大会が開かれました。2日目の方に、関西米山学友会および現役の米山奨学生は合計約40人で参加させていただきました。

今回の地区大会では、各ロータリー少年団体が登壇し、参加者全員の前で四宮ガバナーよりインタビューを受けることになりました。米山からインタビューを受けたのは過去に米山奨学金をいただきました私と、現役奨学生の楊晨さんです。このインタビューにより、米山奨学金事業について、地区大会参加者の方々により理解を深めていただくことができ、この機会をくださった四宮ガバナーに大変感謝しております。

以下に当日のインタビューの原稿を載せます。

四宮ガバナー：奨学金を受けていた期間の生活がどのように変わったか教えてください。

アリフ ザイニ：まずは、皆様にお礼を申し上げます。2013年～2015年大阪城東RCでお世話になりました。皆様のご寄付金のおかげで、無事に大阪大学で博士課程を取得して、今は三菱電機で働いており、次世代製品の研究開発をしています。

そうですね、、、生活が変わったところは、奨学金をいただいていたので苦しい生活費のために毎日していたアルバイトをする必要がなくなって、経済的に変な緊張感もなくなったので、心に少し余裕ができました。また、このとき奉仕活動に熱心に取り組んでいる世話クラブの方やロータリー関係の方々と日々接触していたので、生活だけでなく、人間としても変わったと感じました。

私も奉仕活動をしたくなり、小さいですがそのとき動物保護施設でボラン

ティアを始めました。今は、米山学友会仲間と連携してもっと大きな奉仕活動をしています。例えば、当地区の米山学友会は米山教室をしており、語学教室、パソコン教室などを開き、集めた参加費の全額を寄付活動に用います。

そして、当地区以外の話も少しだけさせていただきますと、例えばモンゴル学友会は子供たちのために本の寄付活動をしています。台湾学友会の場合、米山奨学金制度の海外版をしており、台湾に留学している日本人学生のための奨学金精度を作りました。

ですので、皆様から頂いているご寄付金は決して私たちで止まるわけではなく、世話クラブの下でロータリー理念に日々触れる機会をいただいた米山学友会は次世代にこの御恩を返すようにしています。

今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。





四宮ガバナー：カウンセラーと受け入れクラブとの関係についてお聞きます。

楊晨：昨年より大阪西南ロータリーにお世話になっております楊と申します。わたしもまずこの場をお借りして、皆さんにお礼を申し上げます。カウンセラーの上田さん、渡辺さん、西南ロータリーでお世話になっている皆さんとの繋がりは私の心の明かりのようなものです。

例会で緊張している私を見て優しく話しかけてくださったり、家族会や 50 周年記念など沢山の行事にも誘ってくれました。わたしが怪我した時や手を骨折した際に誰よりも心配してくれたのも、真っ先に病院を探してくれたのもロータリアンの皆さんでした。一年半もの間、辛い時も嬉しい時も側には皆さんがいてくれました。本当に私の心の拠り所、明かりのような存在になってくれました。

ですので私も何か嬉しいことがあった時はカウンセラーやいつもお世話になっているロータリアンの方を思い浮かびますし、家族のように最初に報告したいです。今後も西南ロータリーのこの繋がりを大切にして、みなさんがくれた優しさを今度は伝える側になりたいです。

もし奨学生との接し方について迷われる方がおられましたら心配しないでください。

家族のように親しく接してください。緊張はするけど積極的に世話クラブの方々と交流したいと奨学生は思っていますが、皆様からもラブコールをくださると嬉しいです。



アリフ ザイニ ARIFF ZAINI

国際ロータリー第 2660 地区
関西米山学友会
2019-20 年度 会長



ン・レイイーさん
オウ・ショさん
ボース・チュオー・ジャンさん
ヤン・チェンさん

ロータリー X'mas in USJ

令和元年12月7日大阪ユニバーサルシティロータリークラブが主催した第18回目のロータリー X'mas in USJ プログラムに初めて参加させて頂きました。このプログラムの目的は児童養護施設の子供たちにUSJでクリスマスイベントを楽しく過ごしてもらうためと伺いました。喜んで応募した反面、私は一日親代わりとして役目を果たせるかと緊張と不安でいっぱいでしたが、主催者の皆様が見守っている中、無事に子供たちとロータリアンの方々と楽しく遊んで有意義な時間を共に過ごすことができました。

当日はロータリアンたちと事務の方と混じってのグループ分けで一人につき一人の子供を担当するはずでしたが、予想外なことに子供たちが私にくっついてくれたり懐いてくれたりして、結局私一人が3-4人の子供たちと皆で手をつないで走り回ることもありました。子供同士は時には喧嘩をしたり、また

次の瞬間仲良く楽しく遊んだり、拗ねていても年少さんの面倒をみたりして、子供たちの無邪気な姿と可能性を見せてくれました。パーティーでは手品を簡単に見破れ、マジシャンをツッコんだりするところはさすが関西の子供だと思いました。子供の面倒に慣れてない私が最初から張り切っていたのでイベントの終わる頃はK.O.寸前でした。しかし、最後にバイバイする時、子供たちが寂しそうな顔で私のところに走り寄ってきて、また遊ぼうねとギュッと抱きしめてあげた瞬間、疲れも吹っ飛びました。たくさんの笑いと感動の一日でした。

このイベントを通して、「今があるありがたさ」を実感しました。思い出せば二十歳になった翌年、故郷の台湾を離れ日本に留学してきた当初はホームシックな時期もありました。家族の居ない生活はとても心細かったですが、米山大家族の一員として受け入れてく

ださったことで寂しくなく日本生活を送れていること、また、米山奨学金を頂き経済的な心配もなく無事に大学卒業ができたこと、また今の職場で自信を持って仕事できること、そして米山学友の皆さんと活動できることも、ロータリークラブという大家族の支えがあったからこそだと切実に思います。この感謝の気持ちを形として、このようなロータリアンたちと一緒に社会貢献をして少しでも恩返しできたことはとてもうれしくて感謝でいっぱいです。ぜひこの素晴らしいプログラムを後輩たちにも伝え積極的に参加してもらいたいと思います。この活動に携わったあるいは支援してくださった方々、そして同じ素晴らしい一日を過ごした皆さんに感謝の気持ちをこめてこの文章の締めくくりとさせていただきます。ありがとうございます。



頼 香奈依

RAI KANAE

国際ロータリー第2660地区
関西米山学友会

米山 WEB 感謝祭

3月8日に行う予定だった米山奨学生による感謝祭は、新型コロナウイルスの影響により中止せざるを得ない状況でした。しかし、私たちはこの新しい令和時代におけるテクノロジーを活かし、インターネット上で行うWEB感謝祭にチャレンジし成功することができました。

新型コロナウイルスの影響で2月末に様々なロータリー行事が延期または中止をせざるを得なかった中で、我々



アリフ ザイニ
ARIFF ZAINI

国際ロータリー第2660地区
関西米山学友会
2019-20年度 会長

米山学友会も同じ判断を迫られました。しかし、ロータリーの皆様に大変お世話になった奨学生から感謝の気持ちを伝えずに奨学期間を終えるのは悔しいと多くの声をもらったので、何とか奨学生達の気持ちを尊重したいと考えました。米山学友会の緊急会議の結果、感謝祭は中止をせず、予定通りの日にちで、インターネット上で行うWEB感謝祭を実施するという方針転換を決断しました。インターネット上で行うWEB感謝祭であれば、感謝の気持ちを伝えることもでき、ウイルスに感染する心配もありません。

決断したときは、3/8まで2週間を切っており時間がありませんでした。大急ぎで奨学生達がリレー手紙や各自感謝動画などを撮り、さらに、四宮ガバナーおよび米山奨学委員会の廣瀬委員長からもビデオメッセージとお手紙をいただきました。短期間の中で奨学生と学友が一致団結し準備に取り組み、予定通りの3月8日にWEB感謝祭を無事実施することができました。そして、配信後にロータリアンおよび奨学生から感動の声をたくさんいただくことができました。

米山WEB感謝祭のショート版はリンクにてご覧になれます。個人情報保護のため、本動画は検索できない設定となっており、リンクを持っている人のみご覧になれます。

<https://www.youtube.com/watch?v=WfKPwHDQ3oQ>



完全版のDVDをお求めの方は関西米山学友会までお問合せください(yoneyama2660@gmail.com)。また、米山WEB感謝祭にて奨学生の代表としてスピーチしてくれました楊馳さん、ホーファー宇治・ファビエンさん、凌奕樹さん、鄭詩穎さんの原稿を載せます。

今後も、米山学友会は何があらうと、動じないで前向きに進みたいと思います。今後とも米山奨学生と米山学友会へのご支援を引き続きよろしくお願いいたします。



米山 WEB 感謝祭、奨学生代表スピーチ

皆さん、こんにちは。

私は、鄭詩穎（テイシエイ）と申します。2018年の4月から2年間池田くれはロータリークラブにお世話になっております。

この2年間の中で、たくさんのイベントに参加させていただき、さまざまな人と出会え、いろいろなことを学びました。皆さんのおかげで、私は普通の日本人の大学生でも、なかなか体験できないことをたくさん経験しました。米山奨学生として活動している中で、自分がどれくらい幸せな人かを改めて実感しました。

ここで、この2年間の中で一番印象に残っている3つのエピソードを話したいと思います。

1つ目は、初めて例会に参加した日の話です。初めて例会に参加した時の緊張感が今でも忘れられません。その時に、カウンセラーの坂田さんをはじめ、クラブの皆さんは私のことをあたたかく歓迎し、優しく話をかけてくれました。しかし、緊張していた私はなかなか自分からクラブの皆さんに話をかけていませんでした。例会は非常にアットホームな雰囲気です。その中で、私はもっと日本の文化を学び、台湾の文化をシェアし、もっとたくさんの方々と交流したいと決めました。積極的にコミュニケーションをとることの大切さは、私が米山奨学生になった後に最初に学んだことです。

2つ目は、池田くれはロータリークラブと姉妹クラブを結ぶ台北老松ロータリークラブが、訪日した際の例会訪問や交流会の出席です。台湾から訪日した台

北老松ロータリークラブのメンバーたちの一部は日本語をしゃべれないので、交流を深めるために、私は通訳として手伝いました。日本に留学してから、留学生は母国と日本の架け橋ですということをよく聞きました。通訳の手伝いをきっかけに、私は初めて架け橋になる意味を知りました。そして、架け橋になることは決して簡単なことではないと実感しました。これらの経験を通じて、私は日本の文化だけではなく、台湾の文化についてももっと勉強しないといけないことを学びました。

最後の3つ目は、クラブのメンバーからの誘いで、池田市織姫コンテストへの参加です。このコンテストはロータリーのイベントではないにもかかわらず、普段仕事で非常に忙しい坂田さんは当日わざわざ私のことを応援にきました。このように、例会や米山のイベントにおいて、私がステージでスピーチをした際や何かを披露した時に、カウンセラーの坂田さんはもちろん、クラブの皆さんもいつもあたたかく私のことを見守っていただき、応援していただいています。池田くれはロータリークラブの皆さんは私の家族のような存在です。特に坂田さんは私がいつも日本のママと呼んでいるぐらい私と非常に仲が良く大切な方です。

米山奨学生になってから、私は皆さんの貴重な経験を通じて、いろいろなことを学び、皆さんのおかげで成長したと思います。そして、私は成長だけではなく、非常に大切なもの、第二の家族も得られました。2020年3月に、私は米山奨学生から卒業しますが、この2年間の中で得た大切な絆は決

してなくなりません。これから、私は米山学友として活動していきたいと思っていますので、私の家族の池田くれはロータリークラブの皆さんは引き続き、私の成長を見守ってください！私は池田くれはロータリークラブの皆さんはもちろん、米山の方々やロータリーの皆さんにもいつか恩返しできるように頑張りたいと思います。この2年間、本当にありがとうございました。これからも、よろしくお願いいたします。



鄭 詩穎

CHENG SHIHYING

2018-20年 米山奨学生
台湾
大阪市立大学
池田くれは RC

米山 WEB 感謝祭、奨学生代表スピーチ

皆さん、こんにちは。大阪淀川ロータリー米山奨学生の凌奕樹と申します。今日は「人生応援団」を題として二年間の奨学生生活について簡単に話したいと思います。

皆さんもきっと耳になれるでしょうね。人生はマラソンです。私は大学がゴールだと勘違いしまして、とりあえず一生懸命に大学受験を目指して勉強してきました。しかし、院生の段階に入るとだんだん体力が落ちていて足も動かなくなりました。「諦めよう」という思いがよく頭の中で浮かんできていました。

ちょうどその時、私は大阪淀川ロータリーに配属することとなりました。人生の転機ともいえるぐらい、私の応援団のロータリアンの皆さんと出会いました。親切に私を歓迎される皆さんが



凌 奕樹
LING YISHU

2018-20 年 米山奨学生
中国
立命館大学
大阪淀川 RC

いつもニコニコして私の困りと悩みの相談に乗ってくださいました。カウンセラーの川合さんが本当にお忙しいですが、できれば毎回の例会や活動をご出席されて私のことを心配してくださいます。職域訪問の時、奥さんは私が毎日デスクワークをするため、腰が良くないと聞かれたら、テニスボールで簡単なマッサージをすれば楽になれるというコツを教えていただいて今もほぼ毎日やっています。宝塚観劇の時もお二人が早めに劇場に来られて私を案内していただきました。私がステージでスピードをする時も温かい視線を注目していただいて父母のように私を見守っています。その瞬間、私がすぐやる気が出られるようになりました。

いつも元気で溢れる末松さんは私の留学生生活を充実させました。日本に来てもう5年目ですが、「えべっさん」ってどういうことなのか。日本人の新年あいさつはどのように行っていますか、などなど日本でしか分からないことを教えていただきました。末松さんは息子さんが少年野球時代の写真を見せてくださりまして、観客席の自分を「応援団長」とおっしゃいました。「今私がリョウさんの応援団長ですよ」と私におっしゃいました。

「えっ、私でも応援団があるの？」

私がすぐそういう疑問がなくなりました。淀川ロータリークラブの皆さんが単なる私に「頑張って」と言うことだけでなく、毎週学校の研究が精一杯ですが、ロータリー例会は私の充電ステーションとなりました。卓話で彩の話を聞かせたり、私の「人生の先輩」であるロータリアンたちから生き方を勉

強したり、元気で溢れる顔と姿を拝見したりして、どうやら自分も勇気でどんな困難があっても怖くなくなりました。

時々怖がったり、焦ったり、困ったり気持ちで動かない場合は、山口先生がお茶の稽古を通じて私を慰めていただいて、おかげで自分の気持ちをちゃんと受け止めてきて、自分ことをよりよく理解できました。

うちのクラブは少人数ですが、一人一人も私の年配の友達のように私を支えてきました。83歳の平田さんが私たちは忘年の友だとおっしゃってくれました。それを聞いた私がどれ程嬉しいのか本当に言葉に表せないです。

振り返れば、私が院生の時代に入ってから力がなくなる理由は、人生のマラソンにおいて最終の目標は見えなくなりました。いわゆる「私がどこのゴールに行きたいか」という質問の答えがなかったです。ロータリアンのおかげで、私の身近に素晴らしい人生のモデルがいます。私はロータリアンたちのような「生活に熱情を持ち、自分を律し、明確な目標を持つ」の人になりたいです。しかも、人生はマラソンですので、早かったり、遅かったりする場合もよくあります。焦るより緩急自在なスピードを保つのは一番いいだろうとわかるようになりました。

これからも自信をもって走り続けていきたいと思っています。

米山 WEB 感謝祭、奨学生代表スピーチ

皆さん、こんばんは。

私はホーファー宇治・ファビエンと申します。今日は米山ロータリー記念会のおかげでできた経験を皆様と共有することができ、とても光栄に思います。

2018年の4月に米山ロータリーの奨学生になり、それから2年間守口ロータリークラブでお世話になっておりました。この2年間では守口ロータリークラブの例会と遠足で多くのロータリアンと交流し、嵐山のウガイ(鵜飼)とパナソニックミュージアムを体験し、美味しい料理もたくさん味わうことができました。それゆえに、米山ロータリー記念会の活動を通して、さらに多くのロータリアンのお話を聞き、宝塚劇場・米山記念館などの参観で日本文化の良さと日本の自然の豊かさを知ること



ファビエン シモーネ

ホーファー

HOFER, FABIENNE SIMONE

2018-20年 米山奨学生

スイス

大阪大学

守口 RC

ができました。米山ロータリー記念会では様々な国から来た留学生と知り合い、親交を深めることができ、日本に友人が少ない私にとってとても嬉しいことでした。

そして去年、台湾へ留学し、研究資料を集めたいという希望を伝えた時も、守口ロータリークラブ奉仕担当の廣瀬さんとカウンセラーの松本さんをはじめとしてあたたかくサポートをいただいたことに非常に感動しました。守口ロータリークラブと米山ロータリー記念会のおかげで、自分の夢を追求し、台北の師範大学で研究と中国語の勉強に研鑽することができました。

台湾留学では素敵な思い出を数えないぐらいたくさん作ることができましたが、皆さんに最も印象深かった二つの体験を紹介させていただきたいと思っています。一つ目は、ロータリー記念会のご招待で、11月30日に台湾米山ロータリーの総会への出席です。その際に、拝見できた多言語の環境に驚きました。なぜかと言うと、皆さんが日本語、中国語、英語などの多くの言語で話をし、初対面でも笑顔で声をかけて相手の話に耳を傾けて積極的に交流したからです。美味しい台湾料理を楽しんでいる最中に、笑い声や乾杯の音で溢れた温かい環境では、交流の大切さをしみじみ感じました。

もう一つは、総会の二週間後の12月15日に行われた台北ハーフマラソン大会です。走ることが好きな私は、去年の夏に台湾に研究留学するうちに、ちょうどマラソン大会があることを知った際に、挑戦する機会だと思い登録しました。しかしながら、研究論文

の執筆と週に15時間の中国語の授業で走る練習はあまり時間が取れませんでした。8キロほどの練習しかできなかった私は、21キロを最後まで走ることができるかどうか非常に不安で当日を迎えました。大会の日朝早く現場に着いた時に、すでに必死に練習していた人たちを見て、不安で唾を飲みました。しかし、参加することだけでもすごいじゃないかと自分に聞かせながら、スタートラインに立ちました。人が波のように押し寄せる参加者の中で走り出した瞬間、妙な感覚に陥りました。周りに早いにしても、遅いにしても、必ず全力を出して走っている男女を見た時、私は自分で頑張っていることよりも、マラソン大会の体験を通して周りとの繋がり、皆と一緒に走っているという連帯感を抱きました。こうした一体感と多くのボランティアの温かい支援と声援のおかげで、ゴールするまで耐えて走ることができたと思います。

米山ロータリーの交流と活動では、身体を動かしているのは自分かもしれませんが、周りの人達と繋がっていることをとても自覚しました。

今月で私の米山奨学生の期間は終了しますが、これからも皆様と手繋いで文化交流と奉仕の心を通して、国と言語を超える繋がりを築くことによって世界の平和への道を歩んでいけたらと思います。

この2年間大変お世話になり、ありがとうございました。今後ともどうぞよろしく願い致します。

米山 WEB 感謝祭、奨学生代表スピーチ

皆様こんばんは、関西大学外国語教育研究科の楊馳と申します。豊中ロータリークラブにお世話になっております。この場をお借りして、私自身がカウンセラーの宮田先生に感謝の気持ちを述べさせて頂きたいと思います。

米山奨学生になってから早くも一年近く経ちました。振り返ってみれば、豊中ロータリークラブの活動として、例会はもちろん、豊中ロータリークラブ創立60周年式典、夏の納涼会、年末の家族会、新年互礼会など、そして国際ロータリー2660地区の活動として、春のライラセミナー、秋のライラセミナー、米山総会、レクリエーションの宝塚観劇、米山梅吉記念館の訪問、地区大会など、本当にたくさんのイベントに参加させて頂き、たくさん勉強になりました。大変充実した奨学生生活を送ってきました。

これまでの奨学生生活で得たものの一つは、視野を広げるということです。

カウンセラーの宮田先生をはじめ、ロータリーの皆様は各業界のトップレベルの方々と、毎回の卓話を拝聴するだけに、大変勉強になります。また、日本語についてはもちろん、今後の人生や、仕事面、生活面、人間関係などについても、いつもいつもたくさんのアドバイスを頂きて、本当に感謝しております。とくに山梅吉記念館の訪問のとき、宮田先生はご同行くださいまして、行きと帰りの新幹線で日本の歴史やお祭り、私の出身地中国の現状など、いろいろとお話しして頂いて、大変良い時間を過ごすことができました。

もう一つは、クラブの皆様との絆です。米山奨学生として、クラブに入ってからばかりの頃、緊張で気が気でない私に、皆様から親切に話しかけてくださって、とても心強かったです。また、ライラの参加報告、卓話の発表、米山梅吉記念館訪問の報告がありまして、日本語はたどたどしく、しどろもどろな発表となってしまいましたが、クラ

ブの皆様から笑顔と拍手を頂いて、「お疲れさん」と言ってくださいました。夏の納涼会では、ビンゴゲームに参加したり、クイズをやったり、冬の家族会では、サンタクロースに仮装したり、楽しい思い出がいっぱいありました。

昨年の米山レクリエーションは、宝塚観劇を観に行きました。公演タイトルは『I am from Austria』サブタイトル『故郷(ふるさと)は甘き調べ』でした。作品の中に度々「家族」という言葉が出てきています。私が思うのは、ロータリークラブ、米山奨学会、学友会は、私たち留学生にとってまさに一つの大きな家族のような存在です。国籍も年齢もバラバラの私たちが一つとなっています。これからも米山奨学生として、誇りをもって、積極的にイベントに参加して、皆様と交流し、この御縁をずっと続けていきたい存じます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

楊 馳

YANG CHI

2019-21 年 米山奨学生

中国

関西大学

豊中 RC



投稿文章（大阪淀川 RC）

～「飲水思源」 世話クラブと米山梅吉記念館訪問～

2019年9月15日に、大阪淀川 RC の秋職域訪問に参加させていただいて、ロータリーアンたちと静岡県三島市にある米山梅吉記念館に訪問しました。

米山奨学生になってもう一年半ぐらい経ちましたが、米山梅吉記念館に訪問するのはまだ初めてです。周りのロータリーアンの姿を見て、米山梅吉さんの像の前に立って、感激の気持ちはいっぱいです。その時の頭には一つの言葉しか残っていない「飲水思源」です。

「水を飲む者は、その源に思いを致せ」。今「水を飲んでいる」私が記念館に来て「井戸を掘っていただく」米山梅吉翁をはじめとする日本のロータリー事業を発展させる方々の生涯を詳しく記念館の方から教えていただきました。館内には第一展示室に梅吉翁の生涯を各種資料より展示されて、第二展示室では創立から今に至るまで日本のロータリーの歩み、ロータリー米山記念奨学会資料が展示されています。中には、米山家が所蔵する品物も展示されています。梅吉翁が47歳に『新隠居論』を発表して、「若い人

に仕事を譲って公共の事業について欲しい」という思いを呼び掛けています。梅吉翁はお金を出したり協力したりと、数えきれないボランティアを行っていました。実際に梅吉翁の文書を拝見したり、功績を拝聴したりして、ロータリーの奉仕精神をよりよく理解できました。もし米山梅吉さんがいなければ、今の私がないでしょう。もし大阪淀川ロータリークラブの皆さんがいなければ、今の私もないでしょう。

また、米山梅吉記念館で米山奨学生 OB の姫さんの話「米山記念奨学金は、お金を渡すだけでなく、人を育てています」を聞いてとすごく共感しています。四宮ガバナーは「あなたと共に」と今年度のテーマにしました。私は私と共にいっしょなロータリーアンの温かさを改めて感じました。20代の私がロータリーアンから貴重な話を多く聞かせて、何か悩みがあれば困りがあればすぐ相談に乗っていただきます。日本人の生活や日本の伝統文化を幅広く丁寧に教えていただきました。人生が一番悩みやすい時に人生の先輩たちのロータリーアンが私たちをリードしてくださることに心から感謝します。

記念館を訪問してから梅吉翁のお墓参りをして、お線香をお供えしました。お墓の前に米山梅吉翁をはじめとするロータリーアン達の手で育てられていることを感じました。おかげさまで、私が頑張れる勇気を持ってきました。ロータリーアンが育てられる次世代の私がしっかりと責任をもって頑張らないといけないと思います。米山梅吉翁の遺徳を偲びながら、ロータリーアンたちに感謝することだけでなく、恩返しと恩送りしようと思いを固めました。「言うは易く行うは難し」今は力の限りの学生ですが、自分なりにできることがやり始めたいと思います。どんな小さなことでも、常に奉仕の精神を念頭に置いて行動して、奉仕の精神を継承していくと思います。

凌 奕樹
LING YISHU

2018-20 年 米山奨学生
中国
立命館大学
大阪淀川 RC



世話クラブのロータリアンと一緒に見学中



末松大幸さん、私、山口雅弘さん



米山教室

～発足してから 2 年の業績報告～

2018 年に関西米山学友会独自の奉仕活動として「米山教室」を始め、発足してから 2 年が経ちました。米山教室とは、様々なことが勉強できる教室で、徴収する授業料（500 円）の全額は寄付金とする特徴があります。

2018 年に米山教室を始めた背景としては、関西米山学友会で何か新しく奉仕活動ができないかと考えたからです。ロータリー精神を受け継いでいる関西米山学友会としてこれまで以上に社会の役に立、新しく何か奉仕活動はできないかと考えました。そこで、米山学友会の「人材」そのものを奉仕活動に活用できないかということに着眼しました。米山奨学生になれる人は、大学推薦およびロータリアンによる面接を経て、学業面においても、人格（コミュニケーション能力など）においても、優れていると認めら

れた人々たちです。これらを踏まえて、それぞれ個人の「専門性」を活かして、他の人に個人の知識を分け合う教室を考案しました。また、生徒のほとんどはロータリー関係の人ですので、ロータリー内の絆の強化にもつながるといって一石二鳥の効果もあります。

これまでの教室では語学教室（中国語、韓国語、英語）、フィットネス教室、料理教室、パソコン教室を実施してきました。1 回 500 円の参加費ですが、この 2 年間で 20 万円も集めることができました。本当に塵も積もれば山となるとはこのことです。これまで米山教室に参加してくださった皆様、本当にありがとうございました。そして、米山教室という関西米山学友会の奉仕活動はまだまだ続きますので、今後とも応援のほどよろしくお願いします。

◆米山教室への参加方法。

基本的に教室の案内と応募は Facebook にて行っております。ページにて「いいね」を押すと、こちらから教室の案内があったときに、自動的に皆さんにも通知が発信されます。

<https://www.facebook.com/yoneyama.kyoushitsu/>



アリフ ザイニ
ARIFF ZAINI

国際ロータリー第 2660 地区
関西米山学友会
2019-20 年度 会長





2019 年度 米山奨学生

ZHANG, XIAOHONG
張 曉紅



中国
関西大学
箕面 RC

NGUYEN THI BICH PHUONG



ベトナム
関西大学
箕面千里中央 RC

SHIM, SANGIN
沈 相仁



韓国
大阪大学
大阪北梅田 RC

CHU DUC TUAN



ベトナム
大阪国際大学
大阪水都 RC

CHANG, JIUYANG
常 久洋



中国
大阪大学
大阪梅田 RC

WEINIRE TUERXUN
維尼熱 吐爾遜



中国
大阪日本語教育センター
大阪梅田東 RC

YANG, CHI
楊 馳



中国
関西大学
豊中 RC

SHIN, YURIE
申 ユリ



韓国
大阪大学
豊中南 RC

THAUVIN, NASTASIA ERICA NADINE



フランス
追手門学院大学
大阪東淀ちゃやまち RC

BANG, MINA
房 旻娥



韓国
大阪大学
千里 RC

TAN, HUI WEN ERICA
陳 卉雯



マレーシア
大阪日本語教育センター
千里メイプル RC

VO NU TRUONG GIANG



ベトナム
大阪女学院大学
摂津 RC

**FATIN NABILAH BINTI
SAPARI**



マレーシア
近畿大学
新大阪 RC

**PITABEDDARA
VITHANAGE, SANDALI
DILSHANIE VITHANAGE**



スリランカ
大阪女学院大学
吹田西 RC

NGUYEN THI THUY DUNG



ベトナム
大阪産業大学
高槻 RC

NGUYEN THU THAO



ベトナム
大阪産業大学
大東 RC

DUONG HONG SANG



ベトナム
大阪産業大学
交野 RC

**JIRAPORNCHAICHAN,
BENSUJINTORN**



タイ
大阪国際大学
香里園 RC

WANG, YU
王 嶼



中国
大阪大学
守口ロイブニング RC

MEI, XING
梅 星



中国
摂南大学
大阪城東 RC

GULE, LUCIANO SIMAO



モザンビーク
大阪大学
東大阪みどり RC

SUN, SHU FAN
孫 舒凡



台湾
大阪大学
大阪難波 RC

LIU, LISHUANG
劉 李双



中国
大阪教育大学
大阪南 RC

LIU, QIANG
劉 強



中国
立命館大学
大阪堂島 RC

NGO TRUNG THANG



ベトナム
大阪経済大学
大阪船場 RC

**SANTIKUNAKORN,
WANATIYA**



タイ
大阪産業大学
大阪心斎橋 RC

DIA, LOZA



インドネシア
大阪経済法科大学
大阪西 RC

**JIANG, YI WEI
蒋 伊薇**



中国
大阪大学
大阪 RC

**LU, ZHAOYING
盧 昭穎**



中国
大阪大学
大阪イブニング RC

**LEE, SONG YA
李 頌雅**



台湾
大阪大学
大阪城南 RC

**LIU, WEN TING
劉 文婷**



台湾
関西大学
大阪中之島 RC

**YANG, BIN
楊 斌**



中国
大阪ハイテクノロジー専門学校
大阪大手前 RC

TON THAT THIEN VU



ベトナム
関西大学
大阪咲洲 RC

**FU, BOQIAN
付 鉞鈺**



中国
大阪産業大学
大阪東南 RC

**SALIM, RONNY
CHRISTIADI**



インドネシア
大阪工業大学
大阪天満橋 RC

HENGGAR, PRAMUDITYO KURBONOV, ULUGBEK



インドネシア
大阪大学
大阪天王寺 RC



タジキスタン
大阪大学
大阪帝塚山 RC

ALIPOUR, YASER



イラン
大阪大学
茨木 RC

**HOFER, FABIENNE
SIMONE**



スイス
大阪大学
守口 RC

**MALLAWAARACHCHI,
CHAMILA GEETHANJALEE**



スリランカ
大阪女学院大学
大阪御堂筋本町 RC

**NGUYEN THI TUYET
NHUNG**



ベトナム
関西大学
枚方 RC

NGUYEN MINH THU



ベトナム
大阪商業大学
東大阪東 RC

**NORAIN BINTI ABDULLAH NG, LAY YEE
黄 麗儀**



マレーシア
近畿大学
東大阪中央 RC

**FONG, KHAR MYRN
方 嘉雯**



マレーシア
大阪教育大学
大阪柏原 RC



マレーシア
大阪産業大学
大東中央 RC

**YUN, HYEUN
尹 惠彦**



韓国
関西大学
大阪北 RC

**CHENG, SHIH YING
鄭 詩穎**



台湾
大阪市立大学
池田くれは RC

**LANG, YU
郎 宇**



中国
大阪市立大学
大阪ユニバーサルシティ RC

**YANG, CHEN
楊 晨**



中国
大阪女学院大学
大阪西南 RC

**QIAN, YAMIN
錢 雅敏**



中国
大阪大学
大阪東 RC

**LING, YISHU
凌 奕樹**



中国
立命館大学
大阪淀川 RC

**LIAO, CHIEN SEN
廖 健森**



台湾
大阪市立大学
大阪西南 RC

関西米山奨学生学友会 2019-20 年度役員

アリフ ザイニ
Ariff Zaini



関西学友会
会長

ミン スラ
閔 スラ



関西学友会
副会長

タン ヤーティン
單 雅婷



幹事長

テイ カイラン
鄭 海蘭



会計

ショウ インジョン
鍾 允順



広報

ラ シキギョク
羅 式鈺



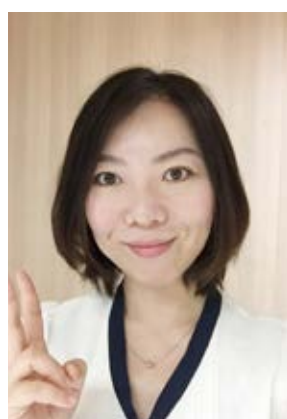
地区学友会専任

チャン スンフン
張 昇勳



役員

シュク ファンユエ
祝 方悦



役員

オウ コウエツ
王 浩悦



役員

ゴ イイ
呉 偉偉



次年度役員候補

リ レイヨ
李 麗俞



会計監査

ホ ユツイ
何 玉翠



顧問

ロータリー米山奨学生学友会（関西）

2018年度会計収支決算書

自2018年7月 1日

収入の部

至2019年6月30日

科 目	金 額	備 考
前年度繰越金	1,356,109	
特別補助金	354,850	国際ロータリー第2660地区
会報補助金	59,585	米山記念奨学会
総会収入	873,000	
寄付金	46,000	
総会補助金	141,000	米山記念奨学会@3,000×47
懇親会収入	1,014,000	
懇親会補助金	42,000	米山記念奨学会@3,000×14
利息収入	11	
総計	3,886,555	

支出の部

科 目	金 額	備 考
運営費	82,002	
会報作成費	119,170	
総会費用	913,347	
懇親会費用	1,403,619	
雑費	2,088	
次年度への繰越金	1,366,329	銀行 1,342,038円、現金 24,291円
総計	3,886,555	

以上ご報告申し上げます。

2019年7月7日

会計 鄭 海蘭



会計監査報告

会計監査の結果、会計収支決算書は適正と認めます。

会計監査 李 麗俞



ロータリー米山奨学生学友会（関西）

2019年度会計予算書（案）

自2019年7月 1日

至2020年6月30日

収入の部

科 目	金 額	備 考
前年度繰越金	1,366,329	
特別補助金	124,597	国際ロータリー第2660地区
会報補助金	100,000	米山記念奨学会
総会収入	800,000	
総会補助金	150,000	米山記念奨学会 @3,000×50
懇親会収入	1,200,000	
懇親会補助金	45,000	米山記念奨学会 @3,000×15
利息収入	10	
総計	3,785,936	

支出の部

科 目	金 額	備 考
運営費	100,000	
会報作成費	200,000	
総会費用	1,000,000	
懇親会費用	1,300,000	
雑費	10,000	
次年度への繰越金	1,175,936	
総計	3,785,936	

以上ご報告申し上げます。

2019年7月7日

会計

鄭 海蘭





2019 絆inモンゴル | 2021 出会いin台湾

皆様のご参加をお待ちしております

台湾米山学友会 理事長郭錦堂

招待状

Invitation

2021 米山学友会世界大会

<出会い in 台湾>第三回大会開催

2021年6月12日

場所:台湾

問合せ: 台湾米山会事務局 台中市南屯區河南路4段460號6C



TEL: +886-4-2251-9415 FAX: +886-4-2251-3952

email: rotary_yoneyama@yahoo.com.tw

